

B 2020/5/16(土) 13:50-16:50 (受付開始 13:00)

外国人に服薬指導するためのアプリや電話通訳システムなどの利用法の実際

講座情報

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を間近に控えた今、訪日外国人の増加に伴い各医療機関では外国人患者への多言語対応が急務となっている。慶應義塾大学病院薬剤部の国際化対応チームは「夜勤一人体制の場合でも外国人患者への対応に困ることがないような環境整備」を目指し、次の4点を重点的に取り組んできた。1)外国人患者対応マニュアルの作成、2)多言語対応資料の整備、3)定期的なロールプレイ研修、4)院内掲示物の整備の4点である。今回の研修会では、私たちの活動を紹介しつつ、実際に参加者の皆さまに翻訳アプリを利用しながらロールプレイを体験していただく。この研修会をきっかけに各施設で多言語対応に気軽に取り組んでいただけることを期待する。

※お持ちのデバイス(スマホ、iPad等)に多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」<http://voicetra.nict.go.jp/>を事前にインストールし、ご準備下さいますようお願いいたします。(デバイスをお持ちでなくてもご参加いただけますが、持参されることを推奨します。)

講演者情報

山吉 康子

慶應義塾大学病院薬剤部 1998年入職、薬剤部国際化対応チーム

川島 沙織

慶應義塾大学病院薬剤部 2009年入職、薬剤部国際化対応チームリーダー
スキルアップのため外国人講師によるプライベートレッスンを受講中

笠井 雄佑

慶應義塾大学病院薬剤部 2012年入職、薬剤部国際化対応チームサブリーダー
2011年薬学部在学中海外アドバンスト実習生としてコンケン大学にて研修

吉田 加奈

慶應義塾大学病院薬剤部 2016年入職 薬剤部国際化対応チーム
慶應義塾大学薬学部在学中の2015年に海外アドバンスト実習生としてワシントン州立大学病院で実習、
現在、海外アドバンスト実習および海外医療従事者による見学時の英語対応、薬剤部内における海外からの患者に対する
ロールプレイ研修担当

神成 はるか

慶應義塾大学病院薬剤部 2018年入職 薬剤部国際化対応チーム
海外アドバンスト実習および海外医療従事者による見学時の英語対応・外国人患者対応マニュアル作成・薬剤部における
外国語対応に関する意識調査担当

傳田 容子

慶應義塾大学病院薬剤部 2019年入職、薬剤部国際化対応チーム
インタースクール中国語医療通訳コース修了

参考サイト

多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」 <http://voicetra.nict.go.jp/>

機関向けコミュニケーション支援サービス MELON <https://www.konicaminolta.jp/melon/>